



たすけあいセンター

ジュントス

JUNTOS! 通信

JUNTOSは
ポルトガル語で
“いっしょに”
日本語版

2016.7.16 発行 No.22



みんなで共に助け合おう! 地域復興のための拠点「JUNTOS」

生活再建や地域復興に向けて、片付け機材の貸出・困りごとの相談・常設型の地域交流スペースを運営中!

～ どの国の人も気持ちは一緒だよ～



常総市の被災経験と、人々の想いを伝える本の発行を応援してください



Before



After

常総の経験と変化を伝えたい ～失われたものは何か～



Before



After

**想いを伝える本づくりに
ご支援ください!**

水害から10ヶ月が過ぎ、元の街並みが戻りつつある一方で、空き地が増えています。水害が起きて、そこに暮らしていた人の生活はどう変わったか、また災害から数ヶ月間、何に悩み、どんな想いで暮らしていたかを記録に残したいと思いました。

想いを共有することで、水害で生まれた「心の温度差」を埋めて、共に復興に取り組んでいけると考え、本の出版に取り組んでいます。多くの人に本を届けるために、出版費用のご支援をいただけると幸いです。

詳しくはホームページをご覧ください。
<www.juntos-joso.org/>よりリンクにアクセス



**あなたが撮影した
まちの写真も募集中!**

9月10日に向けて、もう一つ取り組んでいるのが、昨年の災害の時のまちの様子を撮影した写真を集める活動です。

できれば2ページのように、当時の写真と、現在の同じ場所の写真のデータを、8月末までにたすけあいセンター「JUNTOS」まで、データでお届け下さい。

左記の冊子で、常総の人々の教訓や想いを共有することと合わせて、災害を忘れないためにも、集まった写真でポスター展示をしたり、防災マップや防災のための教材づくりに役立てていきます。

送り先: < juntos@npocommons.org >



災害時の地域の状況と、その後の変化を伝えるために、みなさんが撮られた写真を共有しましょう。

送り先: < juntos@npocommons.org >





安心して、楽しく暮らせるまちを、自分たちでつくる取り組み

空家を減らし、「ともに過ごす家」を増やすプロジェクト その2



グループハウスとは、住んでいたアパートが住めなくなったり、家を壊すことになったけれど、元々住んでいたまちで暮らしたい人、高齢で一人暮らしは不安がある人などが、一人部屋で過ごすだけでなく、「みんなのリビング」で食事を作ったり、交流しながら、近くに見守ってくれる人がいることで、安心して楽しく過ごせる共同の住まいのあり方です。

たすけあいセンター「JUNTOS」では、増加する空き家を改修したり活用して、共同生活ができる住まいや、人々が集える場づくりを、森下町や橋本町から始めています。

6月28日に常総市生涯学習センターで、全国初のグループハウスを作り、19年間運営してきた中村大蔵さんを招き、講演会とワークショップを行いました。中村さんは阪神淡路大震災の際、仮設住宅から通常の復興住宅に移ると高齢者が孤立すると考え、別々の居室と共有のリビングがあり、ヘルパーも常駐するグループハウスを作りました。福祉施設と異なり、食事時間も外出も自由。職員が世話するのではなく、仲間で助け合うようにすることで、自由で自律した共同生活の空間が実現できていると話されました。こうしたグループハウスに関する公的制度がないため、全国でも例が少ないのですが、常総でぜひ実現してほしいとエールをいただきました。講演会に参加した方からは、「住めなくなった家を壊すのはもったいないので、こうした住まいに活用できたらうれしい」、「自分も住んでみたい」という話が出されました。



グットナイト・ヨガ

5月から特別講師をお招きしてヨガ教室を開いています。仕事や家事でお忙しい方、一日の終わりにリラックスしませんか。

基本的に毎月10日、20日の夜(午後7時~8時半)に開講。初心者にも丁寧な説明が好評です(ヨガ・マット貸出あり)。



JUNTOS農園

一緒に野菜づくりを一緒にしませんか？北水海道駅近くの市民農園を借りて、野菜作りをしています。いろいろな人と畑で出会います。経験のある方もない方も、一緒に汗をかいて楽しみませんか。これから世界の料理づくりも行っています。

たすけあいセンター「JUNTOS」の活動や、常総に関する情報は、ラジオJUNTOSで聞くことができます。

< www.juntos-joso.org > より過去の放送も含め、視聴できます。





常総市・七ヶ浜町 交流バスツアー

宮城県の復興の様子を自分の目で見て、聞いて防災を学ぼう！

◆日時: 8月3日(水)8:00~8月5日(金)15:00(2泊3日)

事前説明会 7月28日(木)13:00~15:00

ふりかえり会 8月 8日(月)13:00~15:00

常総市水海道森下町のJUNTOSハウスにて実施

◆【行先】宮城県七ヶ浜(東北の軽井沢と呼ばれるリゾート地)

(東日本大震災後、今夏、海水浴場が再開します)

【宿泊先】宮城郡七ヶ浜町花淵浜字金色 月見岬ジレットハウス

<http://tohoku.uccj.jp/sendakita/hausu.htm>

◆対象: 常総市水海道周辺の小中学生(基本的に4年生以上)

ならびにその保護者(最大40名)

※保護者または高校生以上の付添者同伴を基本とします。

(同伴者についての相談可)

◆参加費: 5,000円(食費・交通費・宿泊費・保険料含む)

◆主催: (有)青木交通トラベル、認定NPO法人レスキューストックヤード

◆協力・申込先: 茨城NPOセンター・コモンズ(たすけあいセンター「JUNTOS」)

※この企画は、全国・全世界からレスキューストックヤードに集まった

「関東・東北豪雨水害支援活動基金」を用いて実施されます。

時間	8月3日
7:45	たすけあいセンター「JUNTOS」集合
8:00	出発(東北道経由のバス移動)
14:30	七ヶ浜到着
16:00	夕涼み交流会

時間	8月4日
8:00	七ヶ浜復興バスツアー
10:00	海水浴/砂浜遊び
15:00	遊覧船で松島町へ、松島観光
17:00	お風呂~夕食~宿泊先へ
20:45	2日間のふり返り

時間	8月5日
8:00	常総市に向け出発
15:00	たすけあいセンター「JUNTOS」到着

いっしょに、「助け合い」で地域を再生しましょう！

活動分野	最近の動き	参加募集してます
J (情報)	1月25日からスタートした「ラジオJUNTOS」で、常総の復興関連のイベントや活躍している団体を毎回紹介。25回分の内容は、たすけあいセンター「JUNTOS」のホームページ(juntos-joso.org)で聴けます。FMラチオつくばFM84.2MHzで毎週月曜日20:00から放送中	番組作りの協力者大募集。 7月26日(午後3時半~4時半)に「市民レポーター講座」を開催!
U (運転)	車がなく、常総市の乗り合いタクシーを利用しづらい方などの、通院、通学、買い物などの送迎を、日曜日を除く毎日ボランティアが行っています。	送迎ボランティアは運転免許があれば動ける時間で活動できます。月数回でも可。
N (直し隊)	水海道森下町や橋本町で被災した家を改修して、地域の拠点にする活動を継続中。エアコン取り付け、網戸張り替えなど、若者の就労準備訓練の一環として実施中。軽トラや貸し出しも継続中。	空家の改修、リフォームの仕方を学びながら実践する講座を開講予定。
T (届け隊)	支援物資をお届けした110世帯の、災害時の体験談や想いをまとめた冊子を作成中。災害時の写真も募集中です(1ページ参照)。	出版のためのご支援や、水害時の地域の写真を募集中。
O (お話し隊)	月1回、つくばでサロンやお出かけを行っているほか、北水海道駅前の市民農園での農作業、月2回のヨガ教室など交流活動を継続中。世界の料理を食べる企画も計画中。	JUNTOSハウスを使って、サロンやイベントを開きませんか?
S (共に住み隊)	6月28日に、全国初のグループハウスを運営してきた中村さんの講演会を開催(3ページ参照)。常総版のグループハウスを具体化するべく、月に数回検討会を開いています。	地域のために空き家を活用させていただける方、共同住宅に関心のある方、ご連絡ください。

常総市在住の、外国とつながる子どもたちの補習教室を手伝っていただける方も募集中!(経験不問です)

発行: たすけあいセンター「JUNTOS」(運営: 認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ)
常総市水海道森下町4455-2 (8月からは、水海道森下町4335にある黄色い家に引っ越します)

☎: 0297-44-4281

FAX: 0297-44-4291

eメール: juntos@npocommons.org

ウェブサイト: www.juntos-joso.org